

事業名		道路改築事業		路河川名等		(国)144号		
事業毎の通番		1	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)		湯ノ平橋(ゆのたいらばし)	
事業概要	事業目的	(国)144号は、群馬県長野原町と上田市を結び、上信越自動車道に直結する幹線道路であり、第1次緊急輸送路に指定されている。また、菅平高原や群馬県嬭恋村へのアクセス道路として、観光バスなど大型車交通量が多い状況にあるが、当該区間は幅員狭小、線形不良による正面衝突や追突事故が多発している状況にある。このため、幅員狭小、線形不良を解消するものである。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		道路法		
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン 長野県強靱化計画、地域防災計画(第1次緊急輸送路)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：6,400台/日						
	着手年度	平成29年度	事業期間	5年間	事業費(千円)			
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	1.9	財源内訳(千円)			
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=630m、W=6.0(10.5)m		500,000	275,000		202,500	22,500
	年度事業内容(主な工種)	測量調査設計 一式		20,000	11,000		8,100	900
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 9億円 緊急輸送路(1次)の整備					
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興					
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：なし ○交通結節点アクセス：上信越自動車道 上田菅平IC アクセス ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(菅平高原) ○地域の活性化：スポーツ関連施設集積拠点(菅平高原)アクセス					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン「事業着手」 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(1次) ○地域指定：積雪地域(旧真田町)					評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.9 ○事業期間：5年(H29~H33) ○工法等の比較検討：設計VE実施 ○他事業との連携：なし					評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：H25~H27：人身事故1件、物損事故7件 ○危険箇所対策：長寿命化修繕計画(架替対象：湯ノ平橋S10) ○歩道整備：歩道未整備区間に歩道を整備 ○道路構造：最小半径50m					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：H27.7.28住民説明会開催。提示ルートで設計を進めることに合意を得る。 ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(H27.10.19建設部長要望)(上田真田連絡道路改良促進期成同盟会) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：毎年、大日向区による沿道美化活動が行われている。					評価	A
部意見	事業の必要性、重要性は高いため、平成29年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	現道は橋梁幅員が狭く、線形不良により事故が多発しており、円滑な交通に支障をきたしていることから、緊急性、必要性、重要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】

【状況写真】

事業概要説明図表

道路築造工 L=630m W=6.0(10.5)m

なぜ整備が必要：  
現湯ノ平橋  
幅員狭小、線形不良(R=50m)であり  
大型車両同士のすれ違い時は非常に  
危険な状況

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)144号は、上田菅平ICと菅平高原や群馬県嬭恋村を繋ぐ道路であり、観光バスや高野原野菜を運ぶトラックなど大型車交通量が多い路線であるが、当該区間は、幅員狭小、線形不良(R=50m)区間であるため、正面衝突や追突等の事故が多発している。また、菅平高原の冬期の大型車通行規制が平成15.16年で解除されたことから、菅平高原から上田市街地までの間の唯一の交通ネック箇所となっている。このため、幅員の確保と急カーブの解消により、菅平高原の観光支援と安全で円滑な交通環境の確保を図る必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	上田市から毎年、改良要望が出されている。 H27.10.19建設部長要望 上田地域7同盟会(上田真田連絡道路改良促進期成同盟会)
③事業説明等の経緯	平成27年6月18日 地元役員へ事業説明を実施し、了解を得る。 平成27年7月28日 住民説明会を実施し、計画ルートについて了解を得る。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン「事業着手」
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	耕作地への影響を最小限に留める路線計画としている。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により上田菅平ICと菅平高原を繋ぐによる道路の信頼性向上、災害時の緊急輸送機能の確保が図られ、交通の円滑化安全性の向上と共に向圏域の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 20' 35" 55
	東経:E 36° 27' 41" 91